

## 原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

1. 日時：平成 23 年 1 月 24 日(月) 12:00-13:00

2. 場所：京都大学原子炉実験所図書棟会議室

3. 出席者（敬称略、順不同、所属無記載は京大炉）

海老原充（首都大学東京）、堀 史説（大阪府立大学）、堀 均（徳島大学）、土田秀次（京都大学）、永井康介（東北大学）、福本 学（東北大学）、田崎誠司（京都大学）、清水裕彦（高エネ研）、小野公二、高宮幸一、櫻井良憲、福谷 哲、川端祐司、増永慎一郎、義家敏正、徐ギユウ、佐藤紘一、堀 順一、福永俊晴、大川久美子、鶴田八千世

4. 配付資料

- ・議事次第
- ・原子炉利用研究者グループ規約（H19.10.24）
- ・原子炉利用研究者グループ平成 22 年予算(案)
- ・原子炉利用研究者グループ平成 22 年予算(案)
- ・原子炉利用研究者グループ幹事名簿(H23.2.1～H25.1.31)

5. 議事

1) 代表幹事挨拶 [海老原（首都大）]

2) 新旧幹事挨拶

新旧幹事の自己紹介と当利用者グループの役割(運営委員会、共同利用研究委員会に委員を推薦している等)の説明がなされた。

3) 議題 1、2

川端会計幹事より平成 22 年の収支報告及び監査終了の報告がなされ、平成 23 年の予算案の説明がされ、了承された。

4) 議題 3: 新幹事役割分担

新幹事の役割分担が別紙のように決定された。

5) 議題 4: 活動計画

原子炉利用研究者グループの今後の活動方針について議論が行われ、以下の意見が出された。

- ・原子炉利用研究者グループは実験所から完全に分離すべきか？分離した方が実験所に対してユーザーの意見を強く示すことができるのではないか。（継続的に検討）
- ・原子炉利用研究者グループはより積極的な活動をすべきではないか？（継続的に検討）
- ・庶務幹事が共同利用者からの意見をまとめて幹事会に提案するようにはどうか？
- ・幹事会で実験所の将来計画について説明がされるべきではないか？（次回以降に川端幹事が説明を行う）
- ・プロジェクト研究に資金面、研究面でのプライオリティを確保するなどの優遇措置を行うなど、ユーザーのモチベーションを上げる取り組みを行うべきではないか？

文責：福谷・高宮

## 原子炉利用研究者グループ幹事名簿

平成 23 年 2 月 1 日

		所 外	所 内
代表幹事		海老原 充 (首都大学東京)	
総 務		所内幹事／所内責任者	
			増永慎一郎
会 計		所内幹事／事務局の出入金を監督	
			徐 虬
会計監査		所外幹事／年 1 回 (1 月) 事務局から会計報告を受け監査実施	
		福本 学 (東北大学)	
広 報		竹中 信幸 (神戸大学) 田崎 誠司 (京都大学) 堀 均 (徳島大学) 秋吉 優史 (京都大学)	三澤 毅 杉山 正明 佐藤 紘一
庶務	庶務全般	篠原 厚 (大阪大学) 宮武 伸一 (大阪医科大学)	川端 祐司 小野 公二
	記録担当		堀 順一 北尾 真司 田中 浩基
	宿舎・ 利用環境	永井 康介 (東北大学) 堀 史説 (大阪府立大学) 佐々木隆之 (京都大学) 土田 秀次 (京都大学)	高宮 幸一 櫻井 良憲

(幹事任期：平成 23 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日)